



佐賀県立男女共同参画センター
佐賀県立生涯学習センター

☎ 0952-26-0011



男女共同参画センター

生涯学習センター

DV総合対策センター

相談する

図書を借りる

視聴覚機材や
PCを借りる

ホールや研修室を
借りる

[トップページ](#) > [アバンセ館長ルーム](#) > [アバンセ館長コラム第28号（令和6年7月）](#)

アバンセ館長コラム第28号（令和6年7月）

アバンセ館長コラム第28号 男の生きづらさを辿る

さて、今回、「男の生きづらさを辿る」と言うタイトルにしましたが、ここで話そうとしている「男」の定義は、6月号のコラムの続きでいえば、からだの性とところの性が一致しているシスジェンダーで、男らしさの性表現を選んでいる男性を指すことになります。おそらく、世の中で一番人数の多い男性の分類枠と推測しています。

このテーマを選んだのは、男性としてのジェンダーを生きている多数派にも、結構な生きづらさがまわりついていることを再確認したいからです。

『出生時に「男」に振り分けられ、家の後継ぎ、あるいは老後の親の経済的後ろ盾と期待される。学業、スポーツ、学歴、職業、経済力、社会的地位など競争社会において他者よりも優れていることを求められる。（たとえ途中で競争に敗れたとしても、弱音を吐かず、悔しさをばねに努力を続け、再起を図る姿勢が求められる。）その環境に疑問を持たず、男らしさの期待に応えるレールに乗っていけば勝ち組とされ、有能感を持つことになる。競争に勝ち続けてきた有能感は、強者の論理やエリート意識を強め、ややもすれば、競争に敗れた人々たちへの共感性を持つことを妨げることになりかねない。気づかぬうちに、ハラスメント等の加害者性を帯びやすくなる。』

言い方を変えれば、優位性のレールから逸脱することへの恐怖、負け組と周囲から見下されてしまうことへのプレッシャー、優劣を序列づけられる運命と密かに戦い続けるのが、「男らしくあれ」と言われる影の部分ではないでしょうか。優劣の序列がある以上、すべての男性が勝者にはなれない、必ず一定の層の「敗者」を生み出すしくみが再生産されているわけです。「こんな成績じゃ駄目だ。」「いつまでも定職に就かないのは、一人前じゃないぞ。」等と言われ、男であることで、周囲からさらにハードルを上げられ、人知れず苦悩している姿。その結果として、心身の不調や自殺率の高さ、家庭内孤立など、「男」が抱えてしまう闇は、看過できないものがあります。本来、「男らしさ」の強い縛りがなければ、ここまで生きづらさを抱える必要はなかったのかもしれませんが。

もうお分かりの通り「男性に生まれてよかった。女性じゃなくてよかった」という結論には安易に結びつかないのです。必要なことは、男女間の力関係の逆転ではありません。性別による固定的な力関係の構図自体を解消していくことです。

その人の個性を表す多くの特性の一つが、その人の「振り分けられた性」にすぎません。その「振り分けられた性」が、生き方を強制、制限してしまう社会に、ジェンダーの在り方に関わらず、私たちすべてが当事者として「NO」を突きつけていきましょう。

「あなたは男じゃないのに、そう言っているのか？」というご批判もあるかもしれません。ひとりひとりが自分らしく生きていける男女共同参画社会。その社会の実現のためには、自分の権利だけの主張では十分ではありません。他者への共感性や想像力はとても必要だと思っています。私の人生も、あなたの人生と同様大事だから！



アバンセ館長 田口香津子 プロフィール

アバンセ館長

佐賀女子短期大学 学長 (2018.4-2022.3)

認定NPO法人 被害者支援ネットワーク佐賀VOISS理事長



佐賀県立男女共同参画センター
佐賀県立生涯学習センター

TEL : 0952-26-0011
FAX : 0952-25-5591

〒840-0815
佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんどんの森内)

 交通アクセス

 お問い合わせ

開館時間

火曜～土曜：8時30分～22時00分
日曜・祝日：8時30分～17時00分
(ホールは22時00分まで)

休館日

毎週月曜日(祝日も含む)
12月29日から翌年1月3日まで

館内フロアマップ



施設利用の手続き



利用料金表



施設利用Q&A



お問い合わせは
080-4312-4831